小松市立安宅中学校　学校だより

智仁勇

令和８年 11 月 NO.6
小松市立安宅中学校
校長　　山本　幸世

10 年後にも心に残る文化祭　＜Memory＞

今年は運動会が終わってから、文化祭の活動を始めました。実は文化的な活動には大変長い準備期間が必要であり、完成の形のイメージも人によって違うため、集団で取り組む時には合意形成が必要になります。自ら進んで考え、意見を述べたり行動したりしなければ何も進まないけれど、そうするとたまには意見の食い違いが生じ、じっくり話し合ったり譲り合ったりすることが起こります。つまり全員が同じ目的に向かって進んでいくためには、ずいぶんな忍耐力が継続して必要なのです。合唱コンクールはまさに忍耐の連続だったかもしれません。歌うことが好きな人も苦手な人もいて、それを全部ひっくるめて最高の歌を創り上げるのは並大抵のことではないのです。歌は形が見えないからこそ難しい。けれども自然に湧いた感動はしっかり形になって心に残る。まさにそのような合唱コンクールでした。今年は安宅小６年生の皆さんをお迎えし、来年の姿である中学１年生の演奏を聴いてもらいました。学年が上がるごとに、３つのパートがはっきり聴こえ、より一層美しく重なり合うハーモニーと一体感、迫ってくるような表現力を感じました。この仲間と歌えるのはこれが最後だから、最高のものにしたい。３年生の演奏からはそんな気持ちが伝わってきました。11/6（金）に行われる小松市生徒音楽発表会には小松市内１０校の代表が集まって演奏を披露します。安宅中学校代表として３年生全員で出場してもらいますが、堂々と、そして人生最後の合唱コンクールのまとめとして、歌い切ってきてください。

＜１年生　課題曲　「星座」・自由曲　１組「マイバラード」、２組「君をのせて」＞





＜２年生　課題曲　「時の旅人」・自由曲　１組「ハートのアンテナ」、２組「１４-fourteen-」＞





＜３年生　課題曲　「いつまでも」・自由曲　１組「結-ゆい-」、２組「Replay」＞



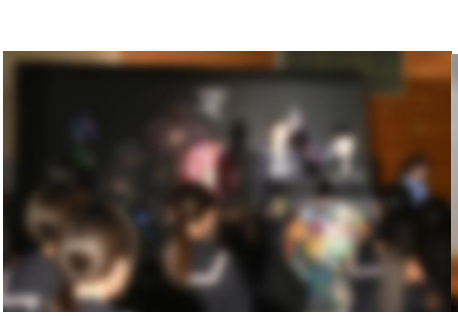


＜３年生　学年合唱　「いつまでも」＞



それぞれの探究　＜学習発表:総合的な学習の時間･意見発表＞

オープニングは文化祭テーマである「Memory」に沿って、執行部が 10 年後の自分たちに扮してパフォーマンスをしてくれました。学習発表では各学年からの総合的な学習の時間で学んだ内容の発表、意見発表がありました。意見発表の「決して風化させない」は、幼少期に輪島に住んでいた経験をもとに思いを連ね、８月に行われた加賀地区意見発表会において安宅中学校代表として発表してきてくれたものです。みなさんはそれぞれの報告や意見を聞いて、どのように感じましたか？















次号 No.7 に続く